



せたがやアカカブの会 vol.21
日時：2019年11月6日(水) 19:00～20:30
場所：生活工房ワークショップルームA
参加者：12名
世話人：1名

キャプチャー画像
上野動物園 昭和11年頃 | 上野動物園
14分18秒 | モノクロ
象、白熊、猿など。

せたがやアカカブの会 The setagaya akakabu circle
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら語り合う小さな集いの場。ほぼ毎月で開催。開催予定・上映内容は、生活工房HPまたはくお問合わせからご確認下さい。一見さん大歓迎。本誌くぶうずら、やまいもうなぎは、当会の新刊物、公式活動記録。

穴アーカイブ：an-archive
記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30～50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。

かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録 2019 no.3
発行日：2019年11月7日

お問い合わせ：生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net
編集：せたがやアカカブの会世話人(松本篤、八木寛之、成田海波、ブルサコワありな)
主催・発行：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
http://www.setagaya-ldc.net/
企画制作：remo [NPO法人記録と表現とメディアのための組織]
後援：世田谷区、世田谷区教育委員会

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。

予告
2020年3月-4月に、生活工房にて展覧会を開催予定。
詳細は同年2月上旬にお知らせいたします。

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

1 三重県桑名市 2歳

2 当時の事、小さくて覚えていないが、父が、体が弱く、早世しているの、あまり、虫かけなかったのかも(ね)。後に母から聞いた話で父、母といっしょに、岐阜の博覧会に行きたか。スワンのボートに乗ったような場面を覚えていた様な気がする。

3. 世田谷区代田4丁目 85歳

No.2
「上野動物園」
昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83

POST-MOVIE

戦前は大阪堺市に住んで居ましたので
大阪天王寺動物園に良く行きました
子供の頃を思い出せる写真を見られてとても
なつかしく有難うございました
動物園は子供の教育には必須の物であると
信じています 動物と共存すれば世の中も
平和になると信じています

No.2
「上野動物園」
昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

上平
世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83

POST-MOVIE

- ① 生まれていません。S32年東京葛飾区生まれ。
(母が当時7才くらい)
- ② S30年代でも上野動物園と浅草に連れて行って
もらうのは、子どもにとってすごく楽しみだった。
S11年だと、もっと非常の「お出かけ」だったのでは。
撮影者は、家族の記録というより、動物を記録して、
子どもたちに見せるという意図をもっていただように
思いました。
- ③ 世田谷区勤務、横浜市在住、62才

No.2
「上野動物園」
昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83

1. 私はまだ生まれていないが、両親が結婚し、東京・渋谷の千駄ヶ谷に住んでいました。長女が翌々年、私が4年後に生まれました。
2. 上野動物園には、この映像の10数年後に行き来した。(昭和24年頃)
3. 現在は世田谷区の代田1丁目に住んでいる。78才。

No.2

「上野動物園」

昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

POST-MOVIE

1. 世田谷区玉川
瀬田町 745番地
ちんぽにまだ生れておらず……○
2. この時代は 専業主婦が 貧しい生活だったと思う
3. 5-12年生れの次、5-14、5-16、5-18 6年後に。
私本人
映像の始め、ボンネットバス(アメリカ製・7年?)の中か
ら、ヒ、外に出て、各々、玉川、車は3人
今はニ子玉川に住んでいます。

No.2

「上野動物園」

昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

POST-MOVIE

- ① 景も開けろ ございませし。デザイン
- ② 動物園 入場券売場の窓口が、とても
なつかしい人ですが、何処で見たのか、
思い出せません。こんな平和な動物たちと
その後、運命を思えば、良しくなります。痛しい。
- ③ 大田区田園調布1丁目 63才
最近動物園好きです。

No.2

「上野動物園」

昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

POST-MOVIE

1. 当時から存在、父は捕鯊船→馬? 母は芦屋にいた頃
2. 生まれてないけども、動物園の存在は時代は走ってる。
テレビ情報のある時代に、子どもには大きな魅力ある場所...
人間は、この間に戦争を繰り出し、度々一世の中を経験。
動物たちも、単独に不幸に見舞われるが、おとどきに生きる
動物は愛いられ、時代をこえた共通語は動物園。
それを題材に話ができるのは、おもしろい。
3. 63才、東京・世田谷区に在住。

No.2

「上野動物園」

昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

POST-MOVIE

① 71歳(5.23生れ)

- ② 男の子の服装が水兵さんのデザイン。そのころの
時代と感いさせよう。その一方で、動物園内の
客の服装や、上野の町の賑い、華やいた雰囲気、
意外性を感じた。2.26という事件を考えると、
世間はもうかし、暗い感じかと想像した。か
つても、青年学校からは、農村の食糧に乏し
都市の華やかな生活をいかに、
こころに描きこんでいたといわれる。この映像
「上野動物園」
昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

POST-MOVIE

1. 生まれをおりません。
2. 意外と動物の種類が、戦前の動物園
のイメージと違いました。あまり、現代の動物園と
変わらないうような。当時、記憶をたどる者の
方へ、「戦前の動物園は本当に種類が多かった」と
語られていたのを、やはりそうか、たまたまと思いました。
参観者の皆さんの、映像から類推していく様子や
拝見し、時代の進み方、印象が異なる情報もたくさん
ある感じを感じました。

No.2

「上野動物園」

昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

駒沢大学 24歳

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

POST-MOVIE

- 昭和11年生まれ
年はたちまちが戦時下の頃母親の親が
山をきりぬらってぼうくうごうに入りまして、
きょうだいで入った今だに残っています。
いっしょに入ったおばさんも10月末100才になり
ましたので子供と会いに行きまして、
元気で頭もかんべきでした。反対にはげまされて
帰って来ましたが、安部大屋のことがかかざってありまして、
15才(金田舎)にいました。母は4月はじめに年1回サカ
やしばい、喜やたてられ、世田谷クロニクル
見に行きました(女)おちも来まして、

No.2

「上野動物園」

昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

POST-MOVIE

1. 天国?! - 27才
2. イメージとして日や戦争が始まる、暗い世相を想いがも
て、意外と平和で自由を感じて、びっくりしました。
ディズニーランドも無かった時代に動物園に行くのは大イベント
だったんだなあ。
ホームムービーでは無く作品として、おとどきの人の心は
スゴいと思いました。
生きてはいるものの、おとどきの心も観ていて、なつかしい気分にな
りました。

No.2

「上野動物園」

昭和11年頃 | 上野動物園
14:18 | モノクロ
象、白熊、猿など。

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83